

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年2月28日

北海道運輸局

評価対象事業名: 令和3年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
ニセコ町地域公共交通活性化協議会	ニセコバス株式会社	<p>運行系統名:ニセコ町全域 町内全域を運行区域とするデマンド型運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運賃1乗降200円 ・ドア・ツー・ドアサービスでの運行 ・午前8時から午後7時まで毎日運行(平日のみ、午前7時台に一部地域からの路線を運行) ・車両及び台数 ワンボックスタイプ(10人乗り) 2台 	<p>町民対象としたまちづくり懇談会でのデマンドバスの説明、町ホームページによる周知、事業者バス時刻表、デマンドバスパンフレットや観光情報誌へ掲載、町内コミュニティFM放送での運行情報提供等による広報活動を行った。</p>	A	B	<p>車両数は運行当初からの2台体制を維持しているが、特に冬季間の乗車希望に対し、所要時間の増等の影響もあり十分応えきれていない状況。</p> <p>予約時において、乗り合い運行を奨励する運用改善を引き続き進め、乗合率及び利用者数を高める取組みを進めるなど適宜改善を図るとともに、ニセコ町公共交通の最適化を図る。</p> <p>現在、地方創生事業を活用し、町の交通課題と解決方法を見出すこととしている。その一環として、スキープスを定時運行することで、デマンドバス利用にどのような影響がでるかを検証し、お断り件数や利用者の増加への影響について令和3年12月も検証運行を行う。</p> <p>また、withコロナの時代に対応し、感染防止対策と外出機会の確保を両立するためにも、消毒やビニールカーテンなどにより、安心して利用できるよう運行を続けていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を達成することができなかったが、継続して実施している検証結果を踏まえた更なる利用促進の取組、また、感染症拡大防止対策を行っていることの周知を効果的に実施することを期待する。 ・今後も継続的に実施していくためにも、地域公共交通計画を策定することを強く期待する。 	